

都学歯 広報

目次

● 学校（教育）に関わる用語③	五十里 一秋	2
● 地区学校歯科医会からのメッセージ 新宿牛込学校歯科医会／公益社団法人 東京都 八南歯科医師会 八王子支部 学校歯科部		4・5
● 最近、気になること その2 前田小学校稲作日誌	澤田 章司	6
● 地区ニュース 品川／大森／新宿／下谷／浅草／ 練馬／麻布赤坂／豊島		7・8
● トピックス 平成25年度多摩ブロック②地区別連絡 協議会／第64回関東甲信越静学校保健大会歯科 職域部会／歯の作文審査会／第77回全国学校歯 科保健研究大会／平成25年度 歯・口の健康に 関する図画・ポスターコンクール審査会／平成 25年度ブロック別学校歯科医研修会		9・10
● 関東地区歯科医師会役員連絡協議会 (関ブロ) って何？	鈴木 博	11
● 第48回東京都学校歯科保健研究大会・予告 会務報告／計報		12

TOGAKUSHI KOHO



都内発祥地シリーズ ⑦4

『地震学発祥記念碑』

東大地震研究所は、文部省直轄の研究所として1928（昭和3）年東大本郷キャンパスの中心部に建設され、戦後は東大付属となる。その後規模の拡大に伴い1960年代に現在地に移転している。

（所在地 文京区弥生一丁目）

写真と文 関根正行

一般社団法人 東京都学校歯科医会

〒102 東京都千代田区九段北4-1-20

-0073 TEL. 03-3261-1675

FAX. 03-3222-6528

<http://www.tasd.or.jp>

E-mail tasd@tasd.or.jp

発行人／鈴木 博

印刷／一世印刷株式会社

108

2013. 11

学校（教育）に関わる用語 ③

東京都教育庁 歯科保健担当課長

五十里一秋



第3回目は「保健活動編 Part 2」です。

【保健教育】

学校保健活動は保健教育、保健管理、組織活動からなる。保健教育は健康課題を解決する能力や資質を身につけて生涯を通じて健康で安全な生活を送れるよう知識を身につけ、実践できる能力を育成すること。保健学習と保健指導がある。

【保健学習】

健康の基礎的な事項を理解し自ら決定し行動できるよう、体育科や関連教科（理科、生活科、家庭科等）で保健担当教諭や学級担任教諭等が授業すること。学校歯科医は保健活動、保健指導、特別活動での指導に教材の提供等参画することが求められる。

【保健指導】

健康診断結果に基づいて直面する健康課題を中心に取り上げ、実践する能力や望ましい習慣形成をめざして指導すること。

【特別活動】

教育課程を構成する一つの領域で、学級活動、学校行事、クラブ活動から構成される。学級活動は児童生徒の学校生活と学習活動の基盤になる。また、学校行事は学校生活にリズムと変化を与え、児童生徒の連帯に重要な役割を果たす。

【保健管理】

児童・生徒等及び職員の健康保持増進を図るため、実践する活動。心身の管理や生活の管理を行う対人管理と学校環境の管理を行う対物管理とがある。対人管理としては健康診断、健康観察、健康相談、事後措置が挙げられる。学校歯科医が関

与する対物管理としては、洗口場や教材の整備がある。

【健康診断】

保健管理の中心であり、学習指導要領では学校行事の「健康安全・体育的行事」に位置づけられている。健康診断の目的は、児童生徒等の成長状況を把握して、疾患の早期発見・早期対応を行い、結果を保健教育で活用することであり、確定診断ではなく、あくまでふるい分け（スクリーニング）である。健康診断には、定期健康診断と就学时・臨時健康診断がある。

【健康相談】

教職員、保護者、児童生徒等を対象に相談を行って、健康上の課題や健康診断の結果必要と判断された治療や予防措置について指導、助言する。

【組織活動】

保健関係教職員、学校医・学校歯科医・学校薬剤師等が連携して、専門的で広範な内容を学校で実践する組織的な活動のこと。学校保健委員会やPTAとの連携が代表例である。保健教育や保健管理を効果的に行うため必須である。

【学校保健委員会】

学校における健康問題を研究、協議、推進する組織。教職員（校長、副校長、養護教諭等）、学校医・学校歯科医・学校薬剤師、保護者、地域関係者等が健康診断結果や学校での健康課題について協議する。

続いて「給食・特別支援教育編」です。

【学校給食】

学校給食は明治時代から開始され、第2次世界大戦後の食糧不足時には児童生徒の栄養改善が最重要課題であった。現在の学校給食は、学校給食法に基づいて実施されていて、「食に関する正しい理解と適切な判断力を養う」ことが目的となっている。

【食育】

食育基本法では、食育を①生きる上の基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの②様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることと位置づけている。

また、平成23年度以降実施されている学習指導要領では、学校において食育を推進することが新たに盛り込まれた。

【特別支援教育】

障害のある幼児・児童・生徒の自立や社会参加を支援する視点から、個々の幼児・児童・生徒の教育的ニーズを把握して、持てる能力を高め、生活や学習上の困難を改善、克服するために行う指導、支援。

【学校介護職員】

都立肢体不自由特別支援学校において、児童生徒の介護（移動、排泄、摂食介助等）を主に担当する職員。東京都特別支援教育推進計画に基づいて、障害の重度、重複度に対応し、児童生徒の安全確保と教員が授業づくりに専念できる体制を整備するために平成23年度から導入。

平成18年度に日本学校歯科医会から発行の「学校歯科医の活動指針＜改訂版＞」の中に「CO（要精検）」の記載があり、平成22年3月24日の理事会における確認事項が日学歯ホームページに掲載されています。

【CO（要精検）】

- (1) 平成14年2月に理事会決定し全国へ通知した「う歯（C）及び要観察歯（CO）の検出基準」（下記参照）を何ら変更したものではなく、これを遵守すること。
- (2) う歯のスクリーニング診査の基準は従前どおり3段階（健全・CO・C）とする。ただし、特に隣接面などに視診で明らかな「う窩」が認められないが、そのまま放置できないと考えられる場合には事後措置としての対応として学校歯科医所見欄に部位名と「要精検」と記載すること。
- (3) COでも要精検である旨を養護教諭に連絡し、連携のもと、「健康診断後のお知らせ」において児童生徒に「受診のお勧め」をすること。

（日学歯ホームページより抜粋）

東京都学校歯科医会からの お知らせ

平成25年12月5日（木）、歯科医師会館1階で「学校保健（学校歯科医）研修会」および「学校歯科医基礎研修会」が開催されます。

「基礎研修会」では全国共通のテキストを用い、学校歯科医としての共通認識を持ちながら、「保健概念」「保健教育」「保健管理」「組織活動」に関する基礎的な事項について研修を行います。子どもたちの未来を支える学校歯科医の資質向上のためにも、今まで受講されていない先生は必ず受講されるようお願い致します。

地区学校歯科医会からのメッセージ

新宿区牛込学校歯科医会

担当理事 磯谷 亮

平成23年4月、旧新宿区四谷歯科医師会と旧新宿区牛込歯科医師会は合併し、1年後の平成24年4月に一般社団法人東京都新宿区四谷牛込歯科医師会となりました。

しかし、学校歯科医会は合併しておらず四谷学校歯科医会、牛込学校歯科医会の2つに分かれており、それぞれに活動しています。現在合併に向けて両会にて検討中です。

牛込地区では区立小学校に幼稚園、こども園が併設されており小学校の校医は幼稚園の園医も兼務しています。このような関係でこども園、幼稚園と小学校を兼務する校医が10名、中学校医3名、都立高校医が5名で、28施設を18人で担当しています。執行役員は会長のほか4人の理事がおり理事会のほか総会を年1回開催しています。

旧牛込歯科医師会の歴史において学校歯科との関わりを探してみると、大正4年に「牛込区歯科衛生展覧会及び映画、スライド講演会が3つの小学校で三日間開催され13,000人の生徒及び父兄が参加した。」とあり、また大正11年には牛込区の10の小学校に嘱託として牛込の会員の先生が任命されています。大正12年には「牛込区では最近同区の各小学校学童死亡率及び齲蝕率が市中第1位であるとの事で、区内の小学校より虚弱児童を100名陸軍戸山学校に集め歯磨き指導等の林間学校を開催し、この指導に会員があたった。」というような記述もあり、また昭和16年には「勅令により国民学校となり、歯科校医を東京府より任命せられる」とあります。このように歴史を振り返ると牛込地区は以前から児童の歯科公衆衛生に力を入れており、我々の諸先輩方がこれに尽力されていたことが分かります。

本会の事業としては都学歯の開催する各研修会、講習会への参加の他、歯・口の健康に関する



図画・ポスター募集に応募協力、学校歯科保健功労者の推薦など行っています。また、新宿区学校保健会では年1回5月に総会及び大会が、11月には歯科保健講演会が開催され、歯科の立場から幼稚園、小中学校のPTA、養護教諭の方々にその時にあった話題を講師の先生に講演して頂いております。牛込学校歯科医会の会員もこれに参加しています。

牛込地区の特に各小学校の児童生徒数にはかなり差があり、1学年1クラスのところもあれば、3クラスというところもあります。しかし各小学校の校医は1名なので歯科検診に費やす時間に差があるのに報酬は同じという問題があり、ここをどう改善していくかが今後の課題の一つになっています。

最初に述べたように四谷学校歯科医会との合併を控えているので、これを機に今までの活動を振り返り問題点を改善し、新しい学校歯科医会を作りあげていきたいと考えています。

公益社団法人 東京都八南歯科医師会 八王子支部 学校歯科部

部長 氷見 元治

高尾山のふもとで

八王子市の学校歯科医会は、八王子市、日野市、多摩市、稲城市からなる公益法人東京都八南歯科医師会の八王子支部（八王子歯科医会）学校歯科部として組織されています。

八王子市は人口56万人を超え、面積は186.3km²と大きく、小学校・中学校・合わせて108校、都立高校、特殊支援学校を合わせて122校にもなります。

過去の学校歯科医の決定方法は、希望者が待機リストに入り、退任者が出るとその学校の歯科医になるというものでした。その為学校と診療所が離れていることが多く、児童・生徒・歯科医にとって不便な状態が散見され、又、学校歯科医の移動がない為、情報が得にくく、歯科医ごとの個人差が大きいという欠点がありました。児童、生徒に対し一定のレベルでの健診、保健教育に取り組めるように会員の理解の下、制度改革を行い、八王子を15ブロックに分け、4年ごとの輪番体制を実行しました。

制度改革より10年が経過し、4期目を迎え事業の見直しを行うことになり、学校歯科医、小学校長、養護教諭に輪番制の適否、任期、希望すること等のアンケートを行いました。その結果は、輪番制が良く半数以上が任期は4年では短い、学校と診療所はなるべく近いほうが望ましいというものでした。これを受けて来年度からは任期を6年とし、13ブロックに再編しました。以前よりは近くの学校になっているとはいえ、大規模校の人数調整や引継ぎなどを含めて更に再考の余地があると考えられました。

現在の学校歯科部の問題点として、八王子支部には250名程の会員が在籍していますが、学校歯科医の希望者が少ないことです。この為定年を70



才から東京都の学校歯科医規定と合わせて75才に延長しましたが、定数を満たす為に個別に会員に依頼して122名を確保している状態です。又、八王子支部では学校歯科医には全員に都学歯、日学歯の入会をお願いしており、東京都学校歯科医会の入会率は100%です。

会員へは年一回学術研修会を開催し、知識の習得に努めています。更に学校保健活動の年間報告書の提出を義務づけ、各自の健診活動、学校保健活動、研修度合等の把握をして、年一回会員相互による話し合いを行い、より良い学校保健活動を目指して活動しています。

行政とは八王子市教育委員会を通じて、八王子市学校保健会を組織し、医師・薬剤師・小中学校長・養護教諭・栄養士と共に理事会や、大会、総会を行い学校保健の問題を検討しています。医師、薬剤師と共に三師会を作り、学校保健会で研究発表を行うなど積極的に活動しています。

八王子市にはミシュランガイドで有名な高尾山がありますが、名所はそれだけではありません。全国に一つしかない大正天皇、貞明皇后及び昭和天皇、香淳皇后の墓地である武蔵陵墓地や、童謡「夕焼小焼」の作詞者中村雨紅ゆかりの複合レクリエーション施設「夕やけ小やけふれあいの里」、約250種1,500本のサクラ保存林を持つ多摩森林科学園、「日本100名城」に認定された八王子城址跡等、多数あります。近隣にお越しの際には是非お立ち寄り下さい。

前田小学校稲作日誌

学術担当理事 澤田 章司



あきる野市立前田小学校の食育の体験学習『無農薬による米作り』に携わり早20年となった。子ども達に一つの事を教える時、途中を省かず全ての過程を見せることが本当の教育であるとの信念の下、この体験学習を行っている。

4月、種もみを蒔く作業から1年が始まる。子ども達に種まきを教え、朝夕の水撒きを当番制で行う。昨年収穫した米粒が発芽し苗が出来るといった発見は子ども達には新鮮な驚きであり、これが体験学習の醍醐味である。

6月、いよいよ田植えである。泥に足を入れることに躊躇する子ども、折角代掻きして平らにした田んぼにズカズカ入っていく子ども。その時一斉にキャーキャーという叫び声が木霊する。泥まみれの体操着、顔のあちこちに飛んだ泥の跡、これもまた良い体験である。

不思議なもので、水を入れた田んぼには直ぐに蛙が鳴き始め、色々な水生昆虫が姿を現す。秋川の清流が注がれるこんな風景も東京では珍しくなった。しかし近年では、全国的に除草剤等の農薬の使用でめっきり昆虫や鳥などの動物が減っている。汚染された田んぼの水が再び川に戻り、やがて海へと注がれる。川の生物は勿論、海の生物までも汚染され、食物連鎖の頂点に立つ人間が最後に最も汚染された魚類を食べる。環境ホルモン（化学物質）は川や海の生物の『メス化現象』を生み人間にも悪影響を与え、かつてはなかった様々な健康異常の原因とも考えられている。こんな『食の安全』も農業を通して教える。『自分の身体は自分で守る』をモットーに！



7月、出穂し花が咲く風景を子ども達は知らない。いや大人でも知らない人は多い。他の作物と同様、受粉して実（米）ができることを子ども達に教えると、またビックリである。

8月、除草剤を撒かない田んぼには雑草が伸び伸びと成長する。手作業での草取りを汗だくで行いながら水生昆虫を観察するのもまた楽しい。タニシ・蛙・魚の多さにビックリ。

10月、穂が垂れ黄金色となり実の重量感が増し、いよいよ稲刈りである。刈るのに夢中で束ねるのが疎かになる。やっとの思いで束ね、竿に掛け天日干しをする。2週間後に脱穀、そして精米の作業となる。その時に出る粉が、実は糠であり糠味噌の原料であることを知り、またビックリ。

12月、収穫した餅米で一大事業の餅つき大会が行われ、全校児童で収穫の喜びを分かち合う。1年間を通した体験学習は子ども達にとって驚きの連続である。この子ども達の笑顔がある限り、今後も健康教育の一助として続けていく大きな価値があると考えている。『継続は力なり！』

地区ニュース

給食後の歯みがき実施モデル事業

品川

品川区（荏原学校歯科医会・品川学校歯科医会）では平成22年度より「給食後の歯みがき実施モデル事業」を行っており、第1次モデル事業（2年間）が終わり、第2次に入っています。その実践校の区立浅間台小学校へ視察に伺った時の写真です。小規模校であるため、児童数に見合った蛇口の数が確保されていますが、蛇口数が足りなかった第1次実践校でも事故は



発生しませんでした。

（丸山進一郎）

地区ニュース

児童生徒の図画ポスター作文のコンクール

大森

平成25年6月16日大田区の池上会館で大森歯科医師会主催、大田区後援の「児童生徒の図画ポスター作文のコンクール」が開催されました。応募された多くの作品の中から優秀な作品を選び、入選者の表彰、入選作品の展示を行いました。入選した子どもたちは少し恥ずかしそうで、でも少し誇らしい表情で表彰を受け



ていました。この日の思い出が長く子どもたちの心に残るように祈ります。

（吉田 厚）

地区ニュース

平成25年度新宿学校歯科担当医会

新宿

平成25年7月19日（金）、新宿区歯科医師会館にて、新宿学校歯科委員会が中心となり、毎年行なわれている新宿学校歯科担当医会が開催されました。

今年度は、小・中学校合わせて23名の学校歯科医の中から、19名の先生に出席して頂き、小見顕本会副会長の挨拶の後、報告・協議事項に入り、各学校を担当している学校歯科医による学校歯科保健活動状況の報告を行い、お互いに学校歯科医としての活動の充実について協議・研修を行いました。学校歯科医会は本会



に統合されてから7年目になり、これからも、地域保健活動の柱として活動の活性化、行政との関わり合いの強化を図ってきたいと思います。

（石川博基）

地区ニュース

歯と口の健康週間

下谷

台東区では毎年6月最初の土曜、日曜、歯科医師による健康週間行事を行っております。学校歯科医会も共に、各学校にポスター等を掲示し養護の先生のご協力を頂き、ポスター、標語の展示、位相差顕微鏡によるプラークの観察、サリバスターテスト、RDテスト等を行っております。本年も700余名の一般及び子供



達の参加をいただきました。

（大村隆司）

浅学歯定例研修会

浅 草

平成25年2月22日に定例研修会が、日本小児歯科学会専門医の田 昌文先生より「小児の咬合誘導」という演題で咬合誘導が不適切な症例、適応症例等の見きわめと実際の治療についての講演を受けました。また、本会会員の先生より顎関節に関する質問票の確立と有病率の調査、TCHの若年者での保有率を検討するという目的で、顎関節のアンケート調査をしたいとの申し出があり、顎関節症、歯列接触癖（TCH）に



についての説明を受け、本年度の学校歯科健康診断時に執り行うこととしました。（久保和彦）

練馬区立小学校長・中学校長との研修協議会

練 馬

平成25年度練馬区立小学校長・中学校長との研修協議会が、今年も9月26日（小学校）及び10月10日（中学校）の両日に練馬区歯科医師会館で開催されました。「CO,GOについて」の研修会を練馬区教育委員会の方々と各小学校長・中学校長及び各学校歯科医が一緒に受講しその後、学校長との会話が弾む懇親会が和やかに行われました。毎回感じられる事は、有意義な親睦が得られた充実感です。他地区の学校医会に推奨



したい練馬区学校歯科医会の年間事業のひとつです。（草柳英二）

港区麻布赤坂学校歯科医会基礎研修会

麻布赤坂

各学校（園）歯科医の健康診断スキルの均一化を図るため年1回全会員の出席を義務付け基礎研修会を行っている。今年度は平成25年9月13日に歯科医師会事務所にて開催された。まず健康診断表やカリエス判定基準についての簡単な説明を行ない、その後、抜去歯を用いて全出席者がそれぞれ判定を行った。その判定したものを集計し、それぞれの抜去歯の判定がどのようなになったかをグラフに表した。その集計を行っている間に、GO, Gの判定について説明を行ない、また、顎関節、歯列・咬合、その他注意すべきことなど



の説明が行われた。その後、集計結果のグラフを見ながら、各自の判定がどのような傾向にあるのか確認を行ない、自分の判定がどのような方向になっているのかを確認していった。（清水浩一）

豊島区学校歯科医会の主な活動

豊 島

豊島区学校歯科医会は、学校歯科医の主な活動として歯科健診、歯みがき指導学習、歯科講話がある。歯みがき指導学習は、東京都歯科衛生士会から歯科衛生士が派遣され、豊島区立の全幼稚園・小中学校（全ク

ラス）に対する指導と共に、小学校4年生ではRDテストが行なわれている。また、全各校に給食後の歯みがき実施を要請している。今年4月には、「歯と口腔の健康づくり推進条例」も施行され、基本的施策の推進として教育委員会と協働して推進すべき項目が定められ、策定委員会を立上げ、着々とプログラムができていく。その他活動として、年1回、養護教諭との合同研修会を12月、都歯科衛生士との連絡協議会も3月開催している。（中山行雄）

トピックス////

平成25年度多摩ブロック② 地区別連絡協議会

平成25年度多摩ブロック②地区別連絡協議会は、7月6日、ホテル町田ヴィアで行われました。都学歯からは川本会長始め多摩ブロックの理事者が来席され、八王子市、多摩市、日野市の代表者数名ずつと、町田市役員を含め20名を超える盛会となりました。挨拶の後、酒井ブロック地区支援担当理事から「他ブロック協議会の活動状況」がパワーポイントで説明され、各地区からは事前アンケートに基づいた「学校保健会における活動」の報告がありました。その後は同会場



懇親会となり、和気藹々の中、熱心に学校保健に対する討議が行われました。(担当：町田市)

トピックス////

第64回関東甲信越静学校保健大会 歯科職域部会

「心と体をはぐくみ、未来をひらく健康教育」を主題とし、健全な発育・発達を目的に健康境域の当面する課題について協議し、その具体的な方策を究明するために、年1回開催されている。

今年度は、東京都が主管して、平成25年8月1日(木)ハイアットリージェンシー東京において、約1000名の参加者を得て行われました。

特別講演は、立ち見が出るほどの盛況で、「これからの話にはお金がかかります」というフレーズのもと、かなり興味深い講演が聞けました。順天堂大学医学部 教授 小林弘幸氏による「ゆっくり動くと健康になる」でした。そのあと、5班に分かれて、班別研究協議会が行われました。

歯科職域部会は、東京都学校歯科医会が主管し、ホテルの最上階の景観の良いホールにおいて、東京歯科大学 生理学講座 講師 瀧川義幸氏による「東京都児



童・生徒の大規模味覚感受性調査から見えること」と題する講演でした。

都学歯学術研究委員会を中心に、園児から高校生までの約1000名を対象に、旨味・甘味感受性調査が行われ、その調査の結果から、閾値の比較、体格指数との関連、口腔内環境との関連分析について、渋谷ワールドの楽しい雰囲気の中、講演が聞けました。

来年度の学術の出版物に、この研究を含む冊子が発行される予定です。乞うご期待ください。

トピックス////

歯の作文審査会

平成25年9月19日(木)15時より、歯科医師会館2F会議室において本会役員、および会誌・広報委員会委員により第1次審査が行われた。応募者630名(小学生404名、中学生226名)で昨年より25名増し多数の力作がよせられ、審査基準のもと厳正な審査が行われた。



トピックス////

平成25年度 歯・口の健康に関する 図画・ポスターコンクール審査会

平成25年9月19日（木）東京都歯科医師会主催の標記審査会が開催された。今年度は47地区より124作品が推薦され、18名の審査委員の投票により優秀作品24点を選出された。今回より幼稚園・中等教育学校・高等学校・特別支援学校の応募が始まり例年より多くの作品を選出された。本会ではこの中から来年度の「歯と口の健康週間」ポスターに使用する作品を選出する予定です。尚、来年度よりこの事業は東京都学校歯科



医会に業務移譲されます。

トピックス////

第77回全国学校歯科保健研究大会

平成25年10月17日（木）、18日（金）にわたり、熊本県熊本市で開催された第77回全国学校歯科保健研究大会に、東京都学校歯科医会からポスター発表がされました。大規模な味覚調査～幼稚園児から高校生まで～の発表で多くの学校歯科医、歯科衛生士、養護教諭、学校栄養士が熱心に見学されました。



トピックス////

平成25年度ブロック別学校歯科医研修会

平成25年度ブロック別学校歯科医研修会が東京都教育委員会、東京都学校保健会、東京都学校歯科医会の主催で開催され、今年度は中央ブロックが9月19日（台東区歯科医師会館）、城東ブロックが10月10日（曳舟文化センター）、城西ブロックが11月14日（杉並区歯科医師会館）の3ブロックで開催されました。

平成25年度は「学校歯科保健活動の場での“気づき”から生まれる「個」への対応」という冊子に基づき講演されました。近年、一人平均DF指数は低くなっているものの、依然として多数のむし歯をもつ子どもがおり、平均化したことで見えなくなっている間

題点があり、また歯周疾患や歯列・咬合の問題、顎関節の問題にも関心が高まってきています。集団に対する歯科保健活動だけでなく、個別対応していくことが必要であると話されました。



中央ブロック



城東ブロック



城西ブロック

関東地区歯科医師会役員連絡協議会（関ブロ）って何？

専務理事 鈴木 博

会員の先生から時々受ける質問の中に「関ブロってワークショップのことですか？」というものがあります。かつて日学歯主催で行われた関東ブロックの勉強会も通称は「関ブロ」でした。歯科医師会の役員でもなければ少々なじみの薄いと言えるこの会（私も存じませんでした）について都学歯がどう関わろうとしているのかご紹介を兼ねてQ & A形式でお話します。

Q 事業計画の各種大会への協力にある関東地区歯科医師会役員連絡協議会って何ですか？

A 茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県の一都七県の歯科医師会役員、事務職員、日本歯科医師会役員が出席し、事業ごとに分かれて意見交換を行い、そして歯科医師連盟役員の連絡協議会も同時開催するというとても大きな会合です。都学歯からは役員数名が3年前からオブザーバー参加をさせていただいています。

Q どのような会合なのでしょう？

A 本年は8月29日（木）「医療連携を通じた歯科保健医療の将来」をメインテーマに千葉県歯科医師会が主催し、ホテルニューオータニ幕張2階の広々とした会議室フロアをすべて借り切る盛大なものでした。そうそう、千葉県知事の森田健作氏も駆けつけてご挨拶されました。

基調講演は「顔の見える医科歯科連携の構築－地域の糖尿病治療と歯周病治療を結ぶ－」と題して千葉県立東金病院長平井愛山先生よりお話をいただき、その後4つの分科会（第1は「時局問題について」第2は「大規模災害について」第3は「医科歯科連携について」第4は「生涯に亘る歯・口腔の健康づくりについて」）に分かれて話し合われました。

Q 都学歯が参加しているのはなぜ？

A 学校歯科医として関東地区単位で話し合う場が今はありません。「関ブロ」を通してその会合を開くことが可能かどうかを検討しているところです。近畿地区、あるいは九州地区ではすでにこのような仕組みがあり、年に1回会合を開いて情報を共有し学校歯科保健活動の成果を高めています。

Q 進捗状況はどうですか？

A 学校歯科医会が独立していて、独自に活動し



ている地区は関東では東京都だけです。歯科医師会の会合の一部をお借りして学校歯科医の話し合う場を作っていただくためには、予算立てだけではなく各地区への連絡方法などの勝手も違うため時間がかかります。今年は都学歯の会合が重なったために、由井副会長と鈴木専務理事が出席してまいりました。第4分科会の東京都歯科医師会役員の隣にオブザーバー席を作っていただきましたが、この会合において当番地区である千葉県歯科医師会からの発案で(1)「歯科口腔保健の推進に関する法律について」と(2)「地域歯科保健に関わる学校歯科保健の役割と健康目標に対する取り組みについて」という学校歯科医に直接かかわる話題を取り上げていただくことができました。

Q 今後は？

A 歯科医師会の会合なので、あくまで東京都歯科医師会をはじめ各県歯の協力を得られればということですが、各地区の学校歯科担当役員が集って学校歯科保健について話し合うテーブルを作っていただけるように働きかけをしていきます。

第48回 東京都学校歯科保健研究大会

期 日 平成26年 2 月 27 日 (木) 13 : 30 受付開始

会 場 文京シビックホール 大ホール

日 程 14 : 00 開 会

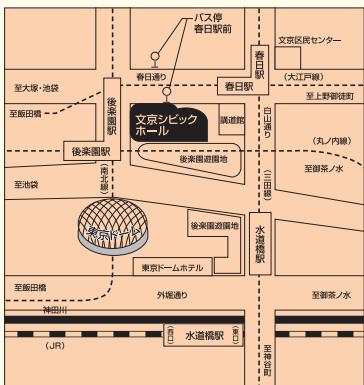
表 彰 式 学校歯科保健優良校入選校・歯の作文入選者
学校歯科保健功労者・学校歯科医30年勤続会員

14 : 30 優秀作文発表 小学校・中学校 代表各 1 名
作文講評 額賀 聡 (千代田区小学校国語教育研究部長)

15 : 00 音楽演奏 東京都立杉並高等学校 吹奏楽部

16 : 00 特別講演 雅楽師 東儀 秀樹
「雅楽のこころ 音楽のちから」

17 : 00 閉 会 (敬称略)



文京シビックホール

〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-21
TEL 03-5803-1100

【最寄り駅】

- 東京メトロ丸ノ内線「後楽園駅」 → 4aまたは5番出口 (徒歩1分)
- 東京メトロ南北線「後楽園駅」 → 5番出口 (徒歩1分)
- 都営地下鉄三田線「春日駅」 (文京シビックセンター前)
- 都営地下鉄大江戸線「春日駅」 (文京シビックセンター前)
→ 文京シビックセンター連絡通路 (徒歩1分)
- JR中央・総武線「水道橋駅」 → 東口 (徒歩9分)

会 務 報 告

6 / 13 (木)	第 5 回理事会	会館
	第 3 回会誌・広報委員会	会館
	第 3 回事業部会	会館
6 / 15 (土)	学術打合せ会 (島嶼関係)	
6 / 17 (月)	第 1 回学術研究委員会	会館
6 / 20 (木)	歯の作文審査依頼	番町小学校
6 / 26 (水)	第83回日本学校歯科医会総会	会館
6 / 27 (木)	城北地区連絡協議会	豊島区歯科医師会館
6 / 29 (土)	「よい歯の集い」 (葛飾区学校歯科医会)	
	テクノプラザかつしか	
	歯の衛生週間表彰式 (杉並区歯科医師会)	
	セシオン杉並	
7 / 6 (土)	多摩ブロック②地区連絡協議会	ホテル町田ヴィラ
7 / 11 (木)	第 6 回理事会	会館
	優良校表彰審査会	会館
	第 4 回事業部会	会館
	第 4 回会誌・広報委員会	会館
7 / 18 (木)	城東地区連絡協議会	いこい
8 / 1 (木)	関東甲信越静学校保健大会・歯科職域部会	
	ハイアット・リージェンシー東京	
8 / 29 (木)	関東地区歯科医師会役員連絡協議会	千葉県
	都立高等学校保健研究会役員連絡会	会館
8 / 31 (土)	第 1 回学術部会	港区芝歯科医師会
9 / 5 (木)	東京都歯科医師会 第183回代議員会	会館
9 / 19 (木)	第 7 回理事会	会館
	歯の作文審査会	会館

	第 5 回会誌・広報委員会	会館
	図画・ポスターコンクール審査会	会館
	中央ブロック (下谷) 研修会	台東区歯科医師会館
9 / 26 (木)	第 6 回事業部会	会館
	第 1 回ライブラリー打合せ	会館
	東京都学校歯科保健功労者表彰選考委員会	会館
10 / 10 (木)	第 8 回理事会	会館
	第 2 回ライブラリー打合せ	会館
	第 6 回会誌・広報委員会	会館
	城東ブロック (向島) 研修会	曳舟文化センター
10 / 17 ~ 18	第77回全国学校歯科保健研究大会	熊本県
10 / 31 (木)	第 7 回事業部会	会館
11 / 7 ~ 8	第63回全国学校保健研究大会・全国歯科医協議会	
		秋田県
11 / 14 (木)	第 9 回理事会	会館
	第 7 回会誌広報委員会	
	城西ブロック (杉並) 研修会	杉並区歯科医師会館

【訃 報】

江 東	鈴木 弘子	(八名川小学校)	H24. 7. 13逝去
足 立	荒井 文紀	(栗島小学校)	H25. 3. 8逝去
江 東	斎藤 仁一	(南砂小学校)	H25. 3. 26逝去
京 橋	吉松 石根	(月島幼稚園・佃島小学校)	H25. 8. 15逝去

上記の先生がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。(敬称略)